

# 移動透過通信アーキテクチャ MAT の公開実験開始 ～MAT for Windows と IMS ホスティングサービス～

相原玲二、西村浩二、岸場清悟（広島大学）  
前田香織（広島市立大学）  
杉本康則（ネットワンシステムズ株式会社）  
三橋薫（株式会社ディアイティ）

## 概要

MAT(Mobility support Architecture and Technologies)は、TCP/IP の IP 層を拡張することにより、トランスポート層以上に対して移動透過通信を可能にするアーキテクチャです。ネットワークを移動するモバイルノードは「ホームアドレス」と「モバイルアドレス」という 2 種類のアドレスを持ち、IP 層でアドレス変換を行うことで移動透過通信を実現します。MAT は常に最適経路による端末間通信を実現し、トンネリング技術を使用しないためトンネルオーバーヘッドによるパケット長の増加が発生しないなど、多くの特長を持っています。

MAT 普及のため、Windows 版ソフトウェアを開発し、希望者には無償で提供する公開実験を開始しました。MAT の利用に必要な IMS(Information Mapping Server)もホスティングサービスとして無償で提供しますので、手軽に IP モビリティを体感して頂けます。実験の期間は 2008 年 12 月までを予定していますが、状況に応じて延長する可能性もあります。

実験に関する詳細情報 <http://www.mat6.org/>

## MAT for Windows

Windows XP SP2 上で動作します。コンピュータ単体で移動するホストモビリティ機能のみをサポートしています。MAT では、移動するノードの通信相手側も MAT をサポートする必要がありますが、通信相手としても利用できます。なお、利用には IPv6 の接続性が必要です。

## IMS ホスティングサービス

IMS はホームアドレスとモバイルアドレスの対応付けを行うサーバです。Web インターフェースにより簡単に利用登録ができ、サーバ側で用意したホームアドレスを一定期間ご利用頂けます。ホームアドレスの貸出期間は原則 30 日間ですが、継続手続きも可能です。

**謝辞** 本研究の一部は日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)(19300019)および広島市立大学平成 19 年度特定研究費(7203)により実施されました。本研究は独立行政法人情報通信研究機構が運用する研究開発テストベッドネットワーク JGN2 を利用しています。

IC2007 デモンストレーション会場にて展示中